

令和4年度 磐田市立長野小学校 学校評価書

A:90%以上、B:70～89%、C:50～69%、D:49%以下

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察○改善策※	学校関係者評価委員から
やさしい子	◎時と場に合わせた行動ができる子 ・委員会を中心に、進んであいさつができる子を褒め、認める。 ・学活や道徳で場を設定し、言葉の伝え方について考える機会を作る。 ・きらきらタイムで、友達のよさを紹介して価値付ける。	あいさつや返事ができる	B	○生活委員会が中心となり、毎朝、「あいさつ運動」を行った。正門や昇降口など決められた場では挨拶ができる。挨拶がよくできる児童を昼の放送で紹介することが、進んで挨拶をすることへの意識付けになっている。 ○「心のアンケート」や「人間関係づくりプログラム」を定期的実施することで、一人一人の児童の悩みを把握し、よりよい学級生活のための働き掛けを行うことができた。 ○きらきらタイム(帰りの会)で、友達のやさしいところを紹介する場を設定した。自分や友達のよさが確認できたことで、学級内の人間関係づくりにより影響を与えた。 ※挨拶をする、思いを伝える場面のどちらにおいても、どうしても受け身になってしまう児童が多い。自分から進んで気持ちのよい挨拶ができる児童を増やすための取り組みを考えていきたい。また、学校生活の中で集団やグループ、ペア活動など自分の思いを表現する場を多く設定するようにしていきたい。	○長野交流センターに来る子供たちは、あいさつがとてもしっかりできている。 ○家庭では、子供があいさつしない。「あいさつしたらどんな気持ちになるかな」と声を掛けたり、親の姿で見せたりすることも大切なのではないかな。 ○日頃の子供の姿から、「学校を楽しんでいる」様子が伝わってくる。 ○「人間関係プログラムづくり」など、自分の思いを伝えられるよう指導して下さっている。それが、子供たちにもうまくなるといい。
		学校を楽しんでいる	A		
		自分の思いを言葉で伝えることができる	B		
		学級は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある	A		
かしこい子	◎自分の学びを見つめる子 ・児童の振り返りを紹介・共有する場を設定する。 ・クラス貸し出しの活用、学級文庫の入れ替え、ピプリオバトルの実施をする。	授業の内容が分かっている	A	○授業の終わりに、振り返りの時間を設定した。自分の学びを振り返り、成長を実感できる児童が増えてきた。教師は、振り返りから得られる児童の思いを授業改善に生かすことができた。 ○全学年で本読みカードの裏面に「みなみが野学府の学習の手引き」を印刷し、保護者が家庭学習の時間や内容について意識できるようにした。 ※家庭学習(自主学習)の時間については、個人差があるので、学年の発達段階に応じた時間が確保できるよう保護者への働き掛けを行っていく。 ※課題の提示方法を工夫したり、自力解決の時間を確保したりすることで、児童が課題を自分事としてとらえ、進んで教師に質問して課題を解決していこうとする意欲を高める。	○「進んで学習」の項目の評価が低い。子供たちが主体的に取り組める環境を、学校や家庭でも作っていくことが大切なのではないか。 ○長野小は、家庭での読書を推進しているので、とても素晴らしいことだと思う。子供たちは、家に帰ると、ゲームをやったりYouTubeなどを観たりすることが多いようだ。来年度の「本龍タイム」(家庭で読書をする時間)の日は、「ノーマディアデー」を推奨していけば、さらによいのではないかな。
		決められた時間以上、家庭学習をしている	C		
		進んで先生に聞いたり、自分で調べたりしている	C		
		振り返りを通して、自分の成長に気付いたり、次のめあてをもったりすることができる	B		
		本を読むことが好き	B		
たくましい子	◎自分のからだを守る子 ・体力強化のプログラムを委員会主催で昼休みに行う。 ・目標の設定や振り返りができる場を設ける。	屋内や屋外で、毎日体を動かしている	B	○昼休みには、外で友達と遊んだり運動したりする児童が多く見られ、身体を動かす習慣が身に付いている。 ○運動会などの体育的行事や命を守る訓練に向けて、多くの児童が自分の目標やめあてをもち、練習に取り組んだり、訓練を実施したりすることができた。 ○コロナ感染症対策が始まって約3年が経ち、学校生活の中で、手洗いうがい、消毒の習慣が身に付いている児童が多い。	○コロナウイルス感染症対策をしながら、子供たちが元気よくいろいろな運動に挑戦していることが分かった。学習や活動などで制限されることが多い中、状況に応じて対応していると感じる。 ○マスク生活が長いのが、マスクを取ってもよくなったときに、子供たちへの指導や支援をきちんとしてあげてほしい。
		自分の立てた安全・運動・健康の目標に向かって努力することができる	B		
		身の回りの整理整頓をし、学校をきれいにする行動ができる	B		
		自分から手洗いうがいができる	A		
家庭・地域との連携 地域を理解し、親しみをもたせるとともに、豊かな感性を育てるための龍門館教育の継承を図る 本校の教育活動について理解してもらうための広報活動を充実させる	龍門館教育の伝統や地域を生かした特色ある教育活動を進めている めざす子どもの姿や、取り組んでいる教育内容などについて知っている 保護者・地域の方に学校の様子などの情報公開を行っている 地域の人たちと、学校や地域で関わっている	龍門館教育の伝統や地域を生かした特色ある教育活動を進めている	A	○コミュニティスクールコーディネーターの力をかりて、総合的な学習の時間を中心に、多くの学習ボランティアの協力を得ることができた。読み聞かせや登下校指導など、保護者や地域の方々の協力に支えられて充実した教育活動ができています。 ○地域の歴史や自然に関心がある児童が多い。龍門館から続く長野小学校の歴史や緑十字機の史話、千寿の舞、仿僧川の治水など、今後も地域教材と関わる学びの場を生かし、児童の意欲が高まるような指導を継続していく。	○龍門館教育の伝統や地域を生かした特色ある教育活動を進めているのは、とてもいいことだと感じる。地域学習で作った新聞や、活動の様子が分かるものを、長野交流センターにも掲示して、地域の方々にも見ていただければ、地域の方々にも学校の活動を知ってもらえるよい機会となるのではないかな。 ○子供たちの下校時に、地域の自治会でパトロールをしている。その他にも下校時の見守りや登校時の旗振りなど、子供たちのために地域の方々も活動してくれている。地域で、長野小の子供たちを温かく見守ってくれている。
			A		
			A		
			B		

学校関係者評価を受けてのまとめ

本校の子供たちは、地域の方々から温かく見守られ、大切に育てられていると感じる。今年度も、コミュニティ・スクールコーディネーターが、地域の多くの方々をゲストティーチャーとして招き、地域と学校を結びつける役割を担ってくださった。子供たちにとって、大変充実した活動につながった。来年度も、龍門館から続く長野小学校の歴史や緑十字機の史話、千寿の舞、仿僧川の治水など、地域教材と関わる学びの場を生かし、児童の意欲が高まるような学習を継続していく。また、読書活動を充実し、家庭での読書を推進する時間を作ったり、ピプリオバトルなどアウトプットの場を設けたりすることで、子供たちのコミュニケーション能力をより高めていく。来年度は、昼休みの後に、学級で企画した遊びやレクリエーションなどを行える学級裁量の時間を作る。子供たちが自分たちで「やりたい」ことを企画し運営するなど、子供たちが主体的に活動できるよう支援していきたい。